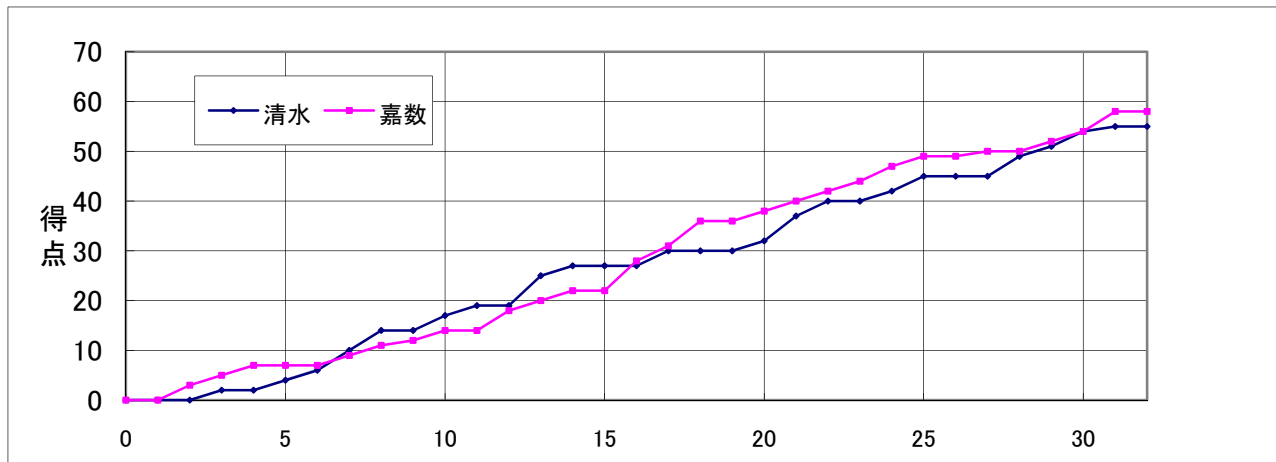


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	A2	11:20	男子1回戦															
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	清水 55 (鹿児島1位) ●	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	14	—	11	13	—	17	15	—	19	13	—	11	—	—	—
					14	—	11												
13	—	17																	
15	—	19																	
13	—	11																	
—	—	—																	
会場	大分県立総合体育館	58 嘉数 ○ (沖縄2位)																	

主審 徳丸 昂 副審 堀之内 健治



1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2
—	18:00	30:57	31:39	—

1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2
—	31:50	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 野間 進太郎 (C)	19	2	6	1	1
5	* 源川 翔太	13	0	4	5	3
6	* 岡元 浩亮	2	0	0	2	0
7	松田 将太	—	—	—	—	—
8	亀田 諒	—	—	—	—	—
9	戸高 七央斗	—	—	—	—	—
10	大内山 浩基	—	—	—	—	—
11	赤尾 朱祐	—	—	—	—	—
12	藤崎 徹也	—	—	—	—	—
13	* 朝倉 栄紀	4	0	1	2	4
14	安楽 龍二	—	—	—	—	—
15	福山 健太	—	—	—	—	—
16	水口 俊知	—	—	—	—	—
17	有村 憲人	—	—	—	—	—
18	* 中園 健悟	17	1	5	4	3
コーチ	川添 裕司	—	—	—	—	—
合計		55	3	16	14	11

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 大城 響 (C)	8	2	1	0	3
5	* 多和田 一真	20	3	5	1	5
6	* 慶田 城 淳	4	0	2	0	3
7	* 中村 陽 延	24	0	11	2	1
8	* 安里 拓	2	0	1	0	3
9	豊里 尊文	0	0	0	0	4
10	末吉 裕樹	—	—	—	—	—
11	上原 仁	—	—	—	—	—
12	真玉橋 長洋	—	—	—	—	—
13	當山 竜郁	—	—	—	—	—
14	伊波 卓朗	—	—	—	—	—
15	新垣 和樹	—	—	—	—	—
16	下地 良周	—	—	—	—	—
17	大舟 庸介	—	—	—	—	—
18	金城 幹野	—	—	—	—	—
コーチ	國吉 律代	—	—	—	—	—
合計		58	5	20	3	19

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

清水ボールから始まった10だが、両チームとも動きが硬い。ディフェンスはマンツーマンで守る。お互いにシュートが入らないが、嘉数#4大城の3Pで先制する。清水#4野間がジャンプシュートで2点を返す。清水#18中園のドライブで崩そうとするが、得点には結びつかない。嘉数#5多和田のステップイン、#7中村のリバウンドシュートで得点を重ねる。一方、清水は#18中園がジャンプシュートを決め、#5源川がファウルを誘い、フリースローを2本しっかり決める。終盤は清水のボール支配率が高くなり、14-11で清水リードで終了する。

20は嘉数ボールから始まる。お互いにフリースローを1本ずつ決め、互角のスタートを切る。その後も清水は#4野間、#18中園の個人技で攻め、嘉数は#7中村のインサイドプレーで得点を重ね、一進一退の攻防を繰り返す。その後、嘉数は#9豊里を投入し流れを変えようとする。清水は#18中園を中心に攻めるが、嘉数のディフェンスのプレッシャーが強く、なかなか得点に結びつかない。一方嘉数は残り1分を切り、#5多和田が積極的に攻め、終了間際の3Pを含め連続6点を挙げ逆転する。嘉数が28-27の1点リードで前半を終了する。

30嘉数は#5多和田の連続3Pなどで一気に6点差になる。清水は後半開始後2分しか経過していないが、たまたまタイムアウトをとる。清水は#4野間の個人技で食い下がり、流れを一旦呼び戻し、2点差まで迫る。しかし、嘉数は残り4分を切って#9豊里を投入し、清水#4野間へのフェイスガードで、執拗なディフェンスをする。その後も両チーム互角の攻防を繰り返すが、最後は、嘉数#4大城の3Pで、47-42の5点差で終了する。

40は両チームとも激しいディフェンスで、ゴールを死守しようと運動量を増やす。清水は#5源川、#18中園の得点で1点差に詰め寄る。残り3分を切り、清水#13朝倉のバスケットカウントにより、ついに逆転をする。しかし、嘉数も#7中村にボールを集め確実に得点を重ね、再逆転をする。嘉数3点リードの残り1分で清水がタイムアウトを取る。嘉数は#7中村のリバウンドで粘るが、24秒オーバータイムになる。残り21秒で、清水が2回目のタイムアウトをとる。しかし、清水も攻めきれずに、ターンオーバーで嘉数ボールになり、そのまま58-55でタイムアップになる。最後はインサイドで確実に得点を重ねた嘉数に軍配が上がった。両チームともディフェンスに頑張り、逆転につく逆転を繰り返して、目の離せない好ゲームであった。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記者 久恒、井上 (所属) 大分県中体連バスケット専門部